

科名 血液内科

対象疾患名 再発又は難治性のB細胞性急性リンパ性白血病

プロトコール名 ビーリンサイト 体重45kg以上 6-9サイクル目

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	...	84
1	点滴注	メイン	デキサート注	19.8mg	30分で投与	↓																														
			生理食塩液	50mL	投与終了後30分経過後 ビーリンサイト開始																															
2	点滴注	メイン	ビーリンサイト	28 μ g	10mL/時間で投与	↓ ↓																														
			注射用水	3mL	24時間経過したら残破 棄て交換																															
			生理食塩液	250mL	使用するルートは薬液 でプライミングする																															
			生理食塩液	20mL	要フィルター 生食は270mLとする																															

★1クール＝84日

～MEMO～

催吐レベル1(10%未満)

・day1～28に1日28 μ gを持続点滴し、56日間休薬する(最大4サイクル)

・副作用の発現を軽減するため、治療前に骨髄中の白血病性芽球の割合が50%超又は末梢血中の白血病性芽球数が15,000/μL以上の場合には、デキサメタゾンによる治療を行った後、本剤を投与することが望ましい。デキサメタゾンは静脈内投与で1日あたり10mg/m²以下を最長5日間まで投与が望ましい。

・副作用により投与を中断した後、投与再開する場合は、投与中断期間が7日以内のときは投与中断期間を含め28日間を同一サイクルとして投与し、投与中断期間が7日を超えたときは、新たなサイクルとして投与すること。投与中断期間が14日を超えた場合は、投与を中止すること。また中断後の再投与前にはデキサメタゾンの投与を行うこと

・輸液ルートは調製した溶液のみでプライミングすること(生理食塩液ではプライミングしないこと)

・過量投与等の原因となるため、輸液バッグ交換時や投与終了時に投与ラインや静脈カテーテルをフラッシュしないこと

・2時間以内の中断は臨床試験では許容された

調製方法

生理食塩液250mLに生理食塩液20mLを加え、そこに輸液安定化液5.5mLを加えたのちに、注射用水3mLで溶解したビーリンサイトを必要量加えること